

3学年 国語科 1学期 指導計画・評価計画

実施月	単元	項目・内容・時数	単元目標	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4		世界はうつくしいと	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで語感を磨き、友達との考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
5	深まる学びへ	握手	文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。	時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目しようとしている。	「読むこと」において、「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考え、登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。	粘り強く物語の展開の仕方を探え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
		文法への扉 1 「走って」いるのは誰?	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。	既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解している。		助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
		意見を聞き、適切さを判断する。	目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。	根拠としている情報について、事実関係や裏付けなどに注意して聞いている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて話題を決め、立場ごとの主張と根拠などを整理してメモを取りながら伝え合っている。	聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。
		学びにて時に之を習ふ、「論語」から	歴史的背景などに注意して古典を読むことができる。	教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。	人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。
		言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	相手や場に応じた言葉遣いについて理解し、表現することができる。	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。		相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
		漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう 1	第二学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。	漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を讀んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を讀んだり書いたりしようとしている。
		説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす	自分の立場や考えを明確にして相手を説得できるように話の構成を工夫しながら話し、それらを実践したり評価を述べたりすることができる。	情報の発信者・出典、調査方法などが適切か確認して、必要な情報を集めている。	「話すこと・聞くこと」において、相手の立場に立って情報を選び、興味を引く導入や明確な主張、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。	相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫して自分の考えを話そうとしている。
6	視野を広げて	作られた「物語」を超えて	具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深め、理解したことや考えたことについて文章にまとめることができる。	ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。	「読むこと」において、論説の特性を踏まえ、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開の仕方を図式化してとらえている。	進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。
		思考のレッスン 具体化・抽象化	具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深め、思いや考えを伝え合うことができる。	具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を探えながら讀んだり書いたりしている。		具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。
		論理の展開を意識して書こう グラフを基に小論文を書く	目的や意図に応じて、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、情報を基に自ら考えたことを言葉で書き出している。	「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。	論理の展開や意見と根拠、それらを結びつける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。
		漢字に親しもう 2	第二学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。	文や文章の中で漢字を讀んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を讀んだり書いたりしようとしている。
S D G 社会 s	情報社会	実用的な文章を讀もう 報道文を比較して讀もう		実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発進時・発進目的を確認している。	「読むこと」において、読み手に必要な情報を過不足なく伝えているかなどの点に着目して読み、情報を整理して客観性や信頼性を確認しながらまとめている。	積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。
		言葉とともに	俳句の可能性 俳句を味わう	詩歌を讀み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする。俳句を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。	俳句の形式と特徴について理解を深め、語句の意味を理解したり、効果的な語句に着目したりしている。	「書くこと」において、自分の思いや考えが伝わるように、語句や表現を工夫したり効果的に伝わる語順を考えたりして俳句を創作している。
い そ つ ば も に 本 は	読書を楽しむ	言葉の約り糸を垂らす	筆者の行った「実験」を行うことで引き出された記憶や考えについて批判的に讀み、自らの考えをまとめることができる。	文章中の語句・表現から、印象に残ったものやよと思ったものを挙げ、その理由や効果について考えている。	筆者の「書くこと」に対する考えについて、自分の記憶や経験を踏まえながら考えている。	筆者のものの見方や考え方を積極的に讀み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
		言葉 2 和語・漢語・外来語	和語、漢語、外来語などを使い分けを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	和語、漢語、外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けしている。		進んで和語、漢語、外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。
	読書を楽しむ	「私の1冊」を探しにこう	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。	さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見している。	「読むこと」において、登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評にまとめている。	進んで読書の意義と効用について理解し、讀んだことを書評などにまとめようとしている。

3学年 国語科 2学期 指導計画・評価計画

実施月	単元	項目・内容・時数	単元目標	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9	状況の中で	挨拶 一原爆の写真によせて	詩を讀んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。	「読むこと」において、現代社会の状況と重ね合わせながら詩を讀み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。	詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って讀み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
		故郷	文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。	文学作品を讀むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。	「読むこと」において、「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方についてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。	粘り強く文章を批判的に讀み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
		聴き上手になる 質問で相手の思いに迫る	話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方について、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	話し手や聞き手が、話の中で適切な言葉遣いをしている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の経験と結び付けながら話を聞き、相手の思いに迫ることのできた質問はどのようなものだったのか探え	話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。
		[推敲]論理の展開を整える	目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。	「具体と抽象」「事実と意見」「意見と根拠」について奇襲した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。	「書くこと」において、課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。	目的や意図に応じた表現になっているかを確かめ、情報と情報の関係の知識を生かして推敲しようとしている。

10	自らの考えを	言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語	1	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができ	慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。	積極的にことわざや慣用句、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。	
		漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう 3	1	第二学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。	漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
		複数の意見を読んで、考えよう 正解が一つに決まらない課題と向き合う	3	論説の文章を比較して読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめることができる。	一つの課題に対して書かれた複数の文章を読み比べることが、自分の生きている社会について深く考えるきっかけになることに気づいている。	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
		考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く	5	表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。	具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。	「書くこと」において、観点を決めて問と答えを書き出し、分析している。また、自分の意見を支える根拠となる資料を引用して構成を考え、批評文を書いている。	表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書くようとしている。
		漢字に親しもう 4	1	第二学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	いにしえの心を受け継ぐ	文法への扉 2 「ない」の違いがわからない？	1	単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解することができる。	「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。		単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組む
		聴きひたる 初恋	1		言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。	「読むこと」において、文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。	進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。
		和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	1	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親むことができる。	「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。		進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
		君待つと 一万葉・古今・新古今	2	長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 和歌の表現のしかたについて評価することができる。	三つの詩集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像し、気に入った言葉や表現の効果などに気づき、引用している。	「読むこと」において、心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。	進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見直しをもって鑑賞文を書くようとしている。
		夏草 「おくのほそ道」から	4	文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。	「読むこと」において、芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較したり、芭蕉が見たものや感じたことを想像している。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。
12	価値を生み出す	それでも、言葉を	4	文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。	「読むこと」において、文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、理解したことや考えたことについて討論したり文章をまとめている。
		[話し合い(進行)]話し合いを効果的に進めよう	1	進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり	全体にかかわる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。	話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。	進行のしかたを工夫し、効果的な話し合いについて考えようとしている。
		合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	4	進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり	複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。	「話すこと・聞くこと」において、提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かし	合意形成に向けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
	書き はいそつもと本	漢字3 漢字のまとめ	1	第二学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		書初め	10	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。	多様な書体や字形について理解し、課題に対して効果的に用いている。		進んで身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くようとしている。
		本は世界への扉	1	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。	二つのノンフィクションを読み、読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気づいたりする。	「読むこと」において、読書を通して、考えたことや気づいたことを読書ノートに書いたり、「私のおすすめ」として紹介したりしている。	進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。

3学年 国語科 3学期 指導計画・評価計画

実施月	単元	項目・内容・時数	単元目標	評価規準			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1		温かいスープ	3	文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけになることに気づいたりしている。	「読むこと」において、自分の生き方や作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の考えをもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
		わたしを束ねないで	2	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	言葉の使われ方や表現の特色に気づけながら詩を朗読している。	「読むこと」において、詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。	詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
2	未来へ向かって	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	5	場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。	目的や相手を意識して言葉を選び、冊子をまとめようとしている。 相手や場を意識しながら適切な言葉を選び、自分の感を伝えていく。	「話すこと・聞くこと」において、相手を意識して敬語を適切に使い、自分の考えがわかりやすく伝わるように構成を考えて発表している。	粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり。友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。
		漢字に親しもう 5	1	第二学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。	音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしている。
3		学習を振り返ろう	4	・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	・相手や場を意識して敬語を使ったりスピーチしたり、説明文を書いたりしている。 ・目的に応じて情報を収集・整理して相手にわかるように説明している。 ・音の時間の表し方や地名を調べ、現代と比較したり、現代に受け継がれたりしていることを理解している。 ・アイヌ民族における地名に関する文章を読み、読書によって世界が広がることを理解している。	「読むこと」において、文章に表れているものの見方、考え方や自分の考えを比較して、人間や社会について自分の考えを書いている。 「話すこと・聞くこと」において、わかりやすく伝わるように聞き手の反応を確かめながら、問いかけたりわかりやすく言い換えたりしている。 「書くこと」において、本文から根拠となる部分を挙げて、客観的に自分の考えを書いている。	粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。